

# 第11回グッドライフアワードにおける環境大臣賞の取組（10件）

## ①最優秀賞 持続可能な地域を未来へつなぐ「菜の花エコプロジェクト」

【概要】「菜の花エコプロジェクト」は、1998年に東近江市から始まった、びわ湖のせっけん運動をルーツとし、菜の花栽培を含む菜たね油の製造、そして、廃食油を回収しバイオディーゼル燃料の精製を行う、廃食油の地域内資源循環の取り組み。2005年には、本プロジェクトの拠点である「あいとうエコプラザ菜の花館」が建設された。指定管理者であるNPO、市民、行政、専門家の協働で、25年にわたって事業を継続している。

（実施主体：NPO法人愛のまちエコ倶楽部 場所：滋賀県東近江市）



## ②優秀賞 おむすびを通じてお米を消費拡大し、日本の農業に貢献する

【概要】1999年創業。環境負荷の軽減に配慮した『環境保全型農業』で栽培されたお米のみを使用し、変動する市場価格にとらわれず契約農家が継続してお米を作れるよう固定価格で買取り、店内で手むすびした大きなおむすびを販売。また、定期的にお米の生産地域の子供たちに、食育教室を実施し、日本の食事情や環境問題とともに、身近な地域のお米が、おむすび権米衛を通じて世界中で高く評価されていることを伝えている。

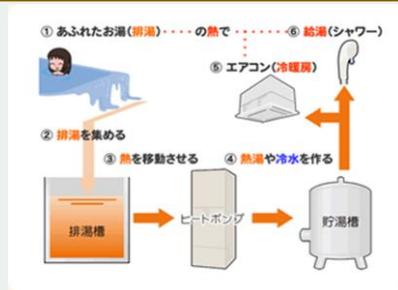
（実施主体：株式会社イワイ 場所：東京都品川区）



## ③優秀賞 温泉で石油ゼロ！熱をフル活用するSDGS温泉旅館

【概要】温泉が常にあふれ捨てられていく大浴場、石油で加熱して水道水が温水に変わるボイラー室。温泉を浴用だけでなく熱源としてヒートポンプを2010年に導入した結果、石油はゼロとなった。旅行に行きたくても選択肢がない車椅子ユーザー向けに2014年にバリアフリー化し、何年ぶりの温泉を楽しむ方が増加。2023年には捨てられるはずのユーカリや温泉熱を活かしたサウナが完成。温泉と旅館をSDGsで見直し、活用している。

（実施主体：鈴の宿 登府屋旅館 場所：山形県米沢市）



## ④優秀賞 昔の暮らしにならい、環境になるべく影響を及ぼさず生きる—それを「現実的な選択肢」へ

【概要】昔の暮らしにならい、できるかぎり環境に影響を及ぼさず生きようと、山里の古民家に住み、田畑を耕作し、他所からなるべく持ち込まず他所になるべく捨てず、近隣住民と協力しながら小さく暮らしている。現代日本で波及するよう、究極を目指すのではなく「そこそこ」に誰にでもできる、難しい技術の要らない、楽しく無理のないところを目指し、こんな生活を選ぶ人が増えるようにと、体験希望者や取材を随時受け入れている。

（実施主体：そこそこ農園 場所：和歌山県那智勝浦町）



# 第11回グッドライフアワードにおける環境大臣賞の取組 (10件)

## ⑤企業部門 空き家を活用して、挑戦を応援する「さかさま不動産」

【概要】従来の不動産流通システムとは逆に、不動産を借りたい人の情報を掲載しているマッチングサービス。老朽化した空き家、流通が困難な物件でも、オーナーと借り手が、空き家の可能性と問題点を共有することで活用へとつながっている。空き家という資源活用はもとより、オーナーや地域の人たちが、借りたい人を応援する流れを生み出している。



(実施主体：株式会社On-Co 場所：全国)

## ⑥地域コミュニティ部門 竹の可能性を追求！自治体、地場企業連携を通じた環境循環型竹産業の構築への挑戦！

【概要】竹を主材料とした商品の製造・販売を行っている。竹ミネラルの開発・製造等を事業者から引き継ぎ、発展させ事業を運営。山口県宇部市、美祢市との連携協定を結び、竹を持続可能な資源として活用し環境循環型産業の構築に挑戦している。



(実施主体：エシカルバンブー株式会社 場所：山口県)

## ⑦地域コミュニティ部門 資源・人・地域の循環を支えるのは高齢者！ 環・農・福連携による「お節介プロジェクト」

【概要】食ロス削減や地元野菜の付加価値向上を目指し、高齢者によるカット野菜やレシピ付き調理キット「お節介野菜」の製造・販売を行い、高齢者の仕事・役割を創出している。規格外野菜の活用は地域資源の有効活用と食ロス削減、所得向上、都市部での販売による知名度向上、地域課題の解決にもつながる。



(実施主体：十字屋グループ・NPO法人真庭あぐり  
ガーデンプロジェクト 場所：岡山県真庭市)

## ⑨ユース部門 人の命も生き物の命も大切に！～生物多様性の宝庫、 ジンデ池を守る活動～

【概要】2018年の西日本豪雨にて防災重点ため池に指定されたが、希少なトンボの生息地なのではと考え、中学2年から個人で生物調査を開始した。ジンデ池の保全を市に伝え、地域の協力も得て放置されていた池の再生活動やセミナーを開催。生き物探しを通じて生物多様性を知ってもらう活動を行っている。



(実施主体：ジンデ池生物研究所 場所：高知県須崎市)

## ⑩ユース部門 多様なアプローチから環境問題の解決に貢献する。

【概要】「環境×○○」をテーマに環境問題に取り組む事が出来るプラットフォーム。企業や他団体、省庁とも積極的に交流を行い、多くのイベントに携わることで環境意識を高める活動を行っている。



(実施主体：早稲田大学学生環境NPO環境ロドリゲス  
場所：早稲田・新宿・長柄町・佐渡・鯖江・山形など)

## 連名受賞

## ⑧地域コミュニティ部門 対馬の海の豊かさを取り戻したい！～みんな で取り組む食べる磯焼け対策～

【概要】磯焼け対策として、未利用魚・食害魚の商品化に成功。島内の定置網事業者から集める仕組みを関係者と構築し、継続的に仕入れている。魚は直営店や学校給食、島外の飲食店で消費され「食べる磯焼け対策・そう介プロジェクト」と命名し魚を食べることで誰でも参加できる活動である。地元漁民と連携し藻場再生にも取り組み、現場を回るツアーも提供している。



(実施主体：有限会社丸徳水産  
場所：長崎県対馬市)

【概要】森里海のフィールドで、多様な立場にある実践者たちの活動を後方支援している。丸徳水産とともに食害魚の高付加価値化と島内流通の仕組みづくりによる磯焼け対策等、官民協働による森里海の生物多様性の保全と持続可能な利用に向けたプロデュースをしている。



(実施主体：一般社団法人MIT  
場所：長崎県対馬市)